

# 【出展報告】「建設技術フェア 2025 in 中部」にて 最新の地下水調査・解析ソリューションを紹介

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）は、2025年12月4日（木）・5日（金）にポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）で開催された「建設技術フェア 2025 in 中部」（主催：産経新聞社）に出展いたしました。

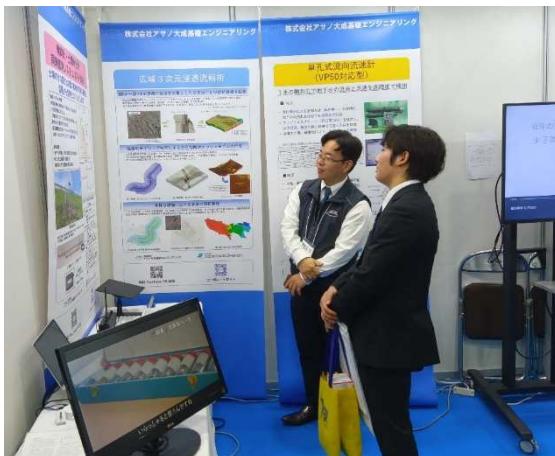
本展示会は、2日間で前年を30%近く上回る23,523名（主催者発表速報値）がご来場されました。

ATKは「確かな技術で、社会づくりに貢献する」というミッションのもと、建設現場における品質向上と防災技術の普及に取り組んでいます。本ブースでは、複雑な「地下水問題」を解決するための最新ソリューションとして、以下の3つの技術を展示・紹介しました。

No	展示技術名	概要
1	傾斜計・土壤水分計同時観測システム（ATK-SAMS）	斜面の傾斜加速度と地中の体積含水率を同時に計測し、斜面の表層崩壊リスクを事前に察知します。遠隔でのモニタリングが可能です。
2	単孔式流向流速計(VP50 対応型)	独自のセンサー技術により、1本のボーリング孔内で地下水の流向・流速を高精度に実測します。
3	広域3次元浸透流解析	トンネル掘削による地下水影響検討、河川改修による周辺井戸の影響検討、揚水井戸の適地検討等に有効な解析手法です。

会期中は、官公庁やゼネコンなど建設業関係者をはじめ、防災意識の高い多くの方々に弊社ブースへお立ち寄りいただきました。特に「ATK-SAMS」については、斜面工事中の安全確保に向けた斜面変状計測の手段として非常に有効であると高い評価をいただきました。また、工事対象地区での「単孔式流向流速計」を用いた地下水調査や「広域3次元浸透流解析」による工事前のシミュレーションと地下水課題の抽出について、具体的な案件への適用やシミュレーション依頼など、実務に即したご相談を多数いただき、地下水課題への関心の高さが伺えました。

ATKは、今後も高度なエンジニアリング技術を通じて、安心・安全な社会インフラの整備に貢献してまいります。



ご来場者様へ ATK-SAMS の説明を行うスタッフ



展示されたパネル  
(単孔式流向流速計、広域3次元浸透流解析)

以上

<本資料に関するお問い合わせ>

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 経営管理本部 中西（03-5246-4150・代表）<https://www.atk-eng.jp/>